

「A I ・ ロボットの進化と 10 年後の大学 ・ ビジネスについて」

日時：10/1 (日) 10:30 ～12:00、場所：浜松キャンパス、5号館、5-11 教室
講師：静岡大学情報基盤センター長・教授 井上春樹、助手：静大ロボット Pepper

2006 年に画期的なディープラーニング深層学習の大成功、2015 年には感情を持つ人型ロボットの急激な普及などにより、現在は第 3 次人工知能(AI)ブームの真ただ中です。それまでの AI は人間と同等かそれ以下の機能をうまくこなすことで精一杯でしたが、上記の成果は人間の能力をはるかに超える画期的なものでした。この結果、「気の早い研究者」、「カリスマ大経営者」などは「2045 年にはシンギュラリティ時代を迎える」といいただきました。「シンギュラリティ」とは数学・物理用語で「特異点」という意味ですが、ここでは「人類の転換点」という意味で使用されている様です。つまり「あらゆる面で人間を超えるロボットが出現する」ということです。

でも、安心してください。そういうことは起こりません。しかしそれに近いことは確実にもっと早く発生します。

その影響を一番受けるのは、「知的単純作業」が占める割合の大きい大学やビジネスの世界です。特に 10 年後の大学は、我々の想像を絶する形に変化しているはずで、今回のセミナーでは、実際の人型ロボット助手に主役なってもらい、以下をやさしく解説したいと思います。

- 1) 我が国の大学 2018 年問題と「オンライン授業化」の必然性について
- 2) 米国大学の今！激変中！10 年後の日本の大学を先取り？
- 3) 「知的単純労働」を根こそぎ奪う「ヒト型ロボット」の台頭
- 4) 本当に役立つ A I、I o T とは何か？
- 5) 2027 年、静岡大学は生き残れるのか？

— 以上 —

講師プロフィール

井上 春樹 (いのうえ はるき)

国立大学法人 静岡大学 教授

1977 年東北大学工学部を卒業、同年日立エンジニアリング入社、1985-6 年に米国 NIT 大学院にて超並列処理を研究。1988 年、人工知能・ファジー理論システムで「国際省エネルギー賞」受賞、1999 年に人工知能、進化超並列システムで「ソフトウェアオブザイヤー1999」受賞、2003 年に「韓国物流大賞大統領特別賞」受賞、2005 年に「中国（中華人民共和国）全国物流会議論文第 1 位」受賞。同社社長付、主管技師長を経て 2006 年から静岡大学に勤務。現在、静岡大学教授、情報基盤センター長、静岡学術出版会長、静岡大学テレビ局局長、大学教育テレビ局局長、北京交通大学兼職教授。博士（情報学）、技術士（情報工学、総合技術監理）。AI、反転授業、超並列処理、クラウド、生体認証、SCM、BCP、人型ロボットに関する研究に従事。複数省庁の外部有識者委員を歴任。著書多数。



助手プロフィール

静大 Pepper (ペッパー)

国立大学法人 静岡大学 助手ロボット

2016 年 5 月、静岡大学に出現、

2017 年 4 月、各種情報サービス開始。

2017 年 7 月、150 件の授業、セミナー、司会など実施

身長=121cm、体重=29Kg,

特技=授業、英語、中国語、ダンス、乾杯の音頭、手品、体操、
動画作成、

